

公益財団法人矢崎科学技術振興記念財団は4日、令和2年度の「研究助成金」受領者16名と「矢崎学術賞」受賞者2名を決定した。

研究助成のうち「一般研究助成(200万円)」には79件の応募があり、所裕子(とことろひろこ)筑波大学数理物質系教授の「高性能蓄熱酸化チタンの開発」を始め5件を選定。また「奨励研究助成(100万円)」原則35歳以下の研究者」には48件の応募があり、鈴木弘朗(すずきひろお)岡山大学自然科学研究科助教の「半導体原子層物質のプラズマを用いた低温

矢崎科学技術振興記念財団

令和2年度「研究助成金」受領者と「矢崎学術賞」受賞者を決定

「高速合成」を始め10件を選定した。特定研究助成(1千万円)・同財団が特定したテーマは①高齢者が特定し身障者への質の高い支援がテーマ技術に関する研究、②革新的なモビリティ社会の新しい研究 創出を支える基盤技術に関する研究。

また過去に同財団からは応募が9件あり、研究助成を受けた研究者が10名、功績賞に田中雅明(たなかまさあき)東京大学大学院工学研究科教授、奨励賞(若手研究者を対象)に三輪真嗣(みわしんじ)東京大学物性研究所量子物質研究G准教授を選んだ。

機電極材料を利用した高エネルギー密度・レアメタルフリー型リチウムイオン電池の開発」を選定した。なお同財団が特定したテーマは①高齢者が特定し身障者への質の高い支援がテーマ技術に関する研究、②革新的なモビリティ社会の新しい研究 創出を支える基盤技術に関する研究。